

令和5年12月27日

愛媛大学

愛大生による中島の課題解決法！ —工学的視点により離島での暮らしを持続可能に—

最終発表会を開催

愛媛大学工学部では、課題解決型学習として、「学部共通 PBL (=Project Based Learning) [融合型]」を開講しています。授業では、工学部の9つの専門コースの学生を混成させたチームを編成し、単一の分野で割り切ることのできない地域課題の解決に向け、所属コースを越えた多角的な視点での課題解決力を実践的に育成していきます。

今年度は、忽那諸島・中島の地域課題を題材にしており、10月に行った現地でのフィールドワークと地域の方々への地域課題の解決アイデア発表会で得た地元の方々の声を参考に、今回、解決策アイデアを具体化して最終発表提案を行います。

なお、今回の発表会では、中島支所会議室ともオンラインで繋いで実施します。

つきましては、広く周知いただきますとともに、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

- 日 時： 令和6年1月26日（金） 8時30分～11時50分頃
- 会 場： 愛媛大学工学部2号館345演習室（松山市文京町3）
- 開催形式： 会場及びオンライン（Zoom）によるハイブリッド開催
- 対 象： 学生、地域・一般
- 内 容： 12の学生チームによる発表 ※発表タイトル等、別紙参照
- 参加方法： 会場参加・・・事前申込不要。直接、会場までお越しください。
オンライン参加・・・以下の問い合わせ先までご連絡ください。
(ZoomのミーティングコードIDとパスコードをお知らせします。)

※送付資料2枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学大学院理工学研究科 准教授

郡司島 宏美（ぐんじしま ひろみ）

TEL：089-927-8544 携帯 TEL：080-4036-0610

Mail：gunjishima.hiromi.bi@ehime-u.ac.jp



愛媛大学工学部「学部共通PBL融合型」

最終発表会

愛大生による中島の課題解決法！ 工学的視点により離島での暮らしを持続可能に

愛媛大学工学部の12の学生チームが、地域課題を探り、解決のためのアイデア出しに取り組んでいます。10月には、中島にてフィールドワークを行い、地元の方々からお話もお聞きしました。

アイデアを具体化したものを最終発表会でお披露目します。ぜひご参加いただき、ご意見・ご感想をお聞かせください。

中島支所会議室ともオンラインでつなぎます。

日時：1月26日（金）8:30~11:50

会場：愛媛大学工学部 2号館345演習室

(松山市文京町3)

- 1 災害時における中島島内のマイクログリッド化（11班）
- 2 中島の光をつくる潮流発電（9班）
- 3 空き家プロジェクト（8班）
- 4 みかん栽培と雨水活用（1班）
- 5 ため池からの農業用水の効率的な配給（3班）
- 6 忽那諸島における海洋エネルギーを利用した潮流発電（12班）
- 7 災害対策にデジタルツインを活用する（5班）
- 8 中島の魅力を全国に～イノシシで中島を救いませんか？～（7班）
- 9 3Dプリンターと漂着ごみを用いた島おこし（2班）
- 10 デジタルツイン×トライアスロン 新しい島の楽しみ方（6班）
- 11 イノシシから作物を守る！（10班）
- 12 島内での循環型社会の検討（4班）

問合せ先：愛媛大学工学部 PBL融合型担当者
准教授 郡司島 宏美 TEL：080-4036-0610
Mail：gunjishima.hiromi.bi@ehime-u.ac.jp

